



# 新春

2018

昨年総選挙は悔しい結果になりました。

しかし選挙直前になって市民と野党の共闘に逆流が起きたもどで、わが党が一方的に候補者を下してでも立憲野党と共闘を再構築したことは、わが党への信頼と値打ちを高めました。これは必ず次につながると確信しています。

共闘を広げながらどう日本共産党を前進させるかは新しい挑戦です。そのためにも日頃から日本共産党を丸ごと知ってもらい「党を語るつどい」を気軽に無数に開くことが重要です。

みなさんのご協力をぜひお願いします。

改憲勢力が3分の2の議席を占め、今年は安倍政権が本気で9条改憲に臨んでくるでしょう。しかし「9条変えるな」は世論の多数です。改憲の発議をさせない300万署名に全力をあげましょう。

党国会議員団は引き続きモリ・カケ疑惑を追及し、新たに浮上している政治を私物化する疑惑の追及に全力をあげます。

暮らしと経済、働くルールの問題でも、原発再稼働中止や原発ゼロの決断を迫ることで、沖縄新基地建設とのたたかいかでも、市民と野党の共闘をさらに発展させ、安倍政権の暴走をストップさせるためにみなさんと一緒に全力をあげます。

日本共産党衆議院議員	宮本たけし
同 前衆議院議員	清水ただし
日本共産党参議院議員	山下よしき
同 参議院議員	たつみコータロー
同 参議院議員	大門みさし

宮本たけし
清水ただし
山下よしき
たつみコータロー
大門みさし

## 平和な日常と、くらしを守るため頑張ります

日本共産党



大阪府会議員  
宮原たけし

安倍政権と維新府政によって私たちの日常が脅かされています。

北朝鮮問題では、戦争という選択肢はないのに安倍政権は「トランプファースト」でアメリカの先制攻撃も含め支持すると言っています。

大阪府議会に日本共産党が「米朝間の直接対話によって問題を解決する」という主旨の意見書を出しても、維新・自民・公明は対案も示さず葬り去りました。

身近な問題では、国民健康保険制度を大阪府が一本化して、住民と市町村の「決める権利」を奪おうとしています。H30年度から、国保料が高槻市は2万円余り値上がり、島本町は3200円下がります（いずれも12月13日の仮試算）本試算は1月中旬以降ですが、高槻市は値下げが可能で、島本町はもっと値下げができます。

なによりも、住民と市町村が国保制度のあり方や料金を決める権利があるのに、大阪府が上から一本化するの間違いです。松井知事も私の追及に「保険料と減免制度のあり方は、市町村が決める権利がある」と認めざるを得ませんでした。年初めからこの問題でも一緒に頑張りましょう。

河川では、芥川と檜尾川の土砂は一部取り除き中です。しかし、如是川と水無瀬川は土砂撤去の計画もありません。何よりも、4つの河川とも本格的な改修が2020年度以降で、その後いつ始まるかのメドさえ大阪府は示していません。河川の上流の森林整備も一部しか大阪府は計画をしていません。

水道料では、高槻市や島本町に来る「水」がこの4月から、1トンあたり3円下がります。2020年には、さらに2円以上上げることが可能です。

今年はこれまで以上に、高槻・島本を重点にしながら、平和とくらしを守って全力を尽くします。本年もよろしく願いいたします。

日本共産党がみなさんにお届けします

島本民報

2018年1月1日 第1411号

発行：日本共産党島本町委員会 TEL・FAX：962-4003

【連絡先】

かわの恵子 島本町水無瀬2-3-3-506

☎ 962-1708

メール：k3kawano@yahoo.co.jp

日本共産党島本町委員会が見解を発表しました。